

2024(令和6)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
参加される当事者とその家族との交流を通し、互いの不安や悩みを共有することで、安心できる居場所と仲間を作る。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2024年12月21日(土) 13時～15時半 定員15～20名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム クリスマス会（近況報告）

3. 参加者数 14人（内訳：当事者5名、家族7名、専門職2名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月の若年性認知症カフェは、クリスマス会を開催しました。参加者から手作りのツリー&リースの贈り物があり、会場の事務所も普段と違い華やかな雰囲気となりました。サンタのモニュメント作りでは、皆さん集中しながらも楽しそうに取り組まれており、出来上がったサンタはどれも個性的で、素敵な表情となっていました。演奏会では、音楽が好きでバンド活動している方にギター演奏、トランペットを習っている方にはトランペット演奏を披露して頂きました。自然に会場から手拍子も起こり、一段と盛り上がりました。そして会の最後には、1人500円以下で用意して頂いたプレゼントをあみだくじで交換し、子供の頃のようなワクワク・ドキドキ感も味わえる時間が持てました。夫婦での参加も5組おり、今年最後のカフェを賑やかに締める事が出来ました。

5. 所感

毎月のカフェへの参加は厳しい当事者の方々も、クリスマス会へは参加する事が出来、久しぶりに馴染みの方々と顔を合わせると、積もる話に花を咲かせている姿が多く見られました。季節行事を味わう事は生活に潤いを与え、また仲間と集う事で安らぎと安心が生まれるものだと思います。季節感を味わえるイベントの中で、共に語り・笑い・楽しむ事の重要性を強く感じるひと時となりました。今回のスイーツは、やまいもシフォンケーキでした。



★次回予定：2024年12月21日(土) 以上